

モダニズムの政治学

C.グリーンバーグの芸術理論とT.J.クラーク

森村・川村セミナー
グループ発表プレジюме
鯨井留実、桑原 翔、佐藤奈央

はじめに

今回私たちの班では、芸術批評家のクレメント・グリーンバーグの芸術理論に対する T.J.クラークの芸術批評を読むにあたり、なるべくテキストに沿って今回の発表を行っていくことにしました。

グリーンバーグは 1939 年に芸術批評家として彼の名を世界に知らしめることになる論文「アヴァンギャルドとキッチュ」、1940 年には「新たなるラオコーンに向けて」と題する論文を発表しました。その中で彼はこう述べています。「私の行ったことは、今日における抽象美術の優位を、ただその歴史的正当性という点に鑑みて説明したというにすぎない。だから私の書いたことは抽象芸術にかんする歴史的弁明であることが判明した。」このように歴史的・文化的背景から彼はモダニズムを紐解いていくのだが、このテキストのはじめの方では、上の2つの論文からグリーンバーグのアヴァンギャルド誕生の背景などの芸術理論を丁寧に読み解き説明していくクラークだが、徐々にグリーンバーグの芸術観に対する批判を述べていき、彼独自の芸術理論も加えられていきます。グリーンバーグについては今までの発表から多少は理解してきたでしょうが、今回の発表で彼が擁護してきたモダニズム芸術理論をしっかりと認識し、それが正しかったのか、についてを考えていきましょう。

1. クレメント・グリーンバーグの芸術理論

クレメント・グリーンバーグ

= Clement Greenberg; 1909 年1月 16 日 1994 年5月7日

- ・アメリカの美術評論家
- ・ニューヨーク生まれ、親はロシア系のユダヤ人。

グリーンバーグと二つの論文

- ・グリーンバーグは 1939 年、1940 年と連続して二つの論文「アヴァンギャルドとキッチュ」と「新たなるラオコーンに向けて」を発表。
- ・両論文は共に短く、19 世紀半ばのアヴァンギャルド芸術の行程を歴史的に説明しているもの。

1939年 「アヴァンギャルドとキツチュ (Avant-Garde and Kitsch)」

・『パーティサン・レビュー』1939年秋号誌に掲載

(内容)

・資本主義への厳しい批判と敵意

・[主張] = アヴァンギャルドの達成はその歴史意識に懸かっている。

「西洋ブルジョワ社会の一部が、それ以前には聞いたことのないものを生み出した。アヴァンギャルド文化である。この文化を可能にしたのは、すぐれた歴史意識(新種の社会批判/歴史批判の登場)である。アヴァンギャルドの誕生が、科学的な革命思想がヨーロッパで最初の大胆な展開を見せたのと、年代的、地理的に一致することは偶然ではない」

by グリーンバーグ

・アヴァンギャルド芸術とマルクス主義の関連性

・民衆の芸術に関与するファシズムについての描写

後に評論集『芸術と文化』(1960年刊行)の巻頭にも再掲載する。

1940年 「新たなるラオコーンに向けて (Towards a Newer Laocoon)」

・『パーティサン・レビュー』1940年秋号誌に掲載

(内容)

・論文の末尾で議論が歴史的な内容に関するものであることをグリーンバーグ自身が明言している

・アヴァンギャルド芸術とマルクス主義の関連性

グリーンバーグの主張

・アヴァンギャルドは「西洋ブルジョワ芸術の一部」である。

・アヴァンギャルドは「イデオロギーの分裂から」芸術を守るひとつの方法である。

2. アヴァンギャルドと当時の社会背景～モダニズム誕生

芸術と社会主義 - マルクス主義

「西洋ブルジョワ社会の一部が、それ以前には聞いたことの無いようなものを生み出した。アヴァンギャルド文化である。この文化を可能としたのは、優れた歴史意識 新種の社会批判/歴史批判の登場といったほうが正確だろう。したがってアヴァンギャルドの誕生が、科学的な革命思想がヨーロッパで最初の大胆な展開を見せたのと、年代的にそして地理的にも一致することは、少しも偶然ではない。」

当時の社会背景

考慮に値するだけの様々なマルクス主義文化があった時代。

グリーンバーグ自身の論文からもマルクス主義的な性格が伺える。

芸術と資本主義 - アヴァンギャルドとブルジョワジー

後期資本主義下で支配階級がブルジョワジーに移行...芸術の形式も変化・アヴァンギャルドは後期資本主義の支配階級が自分たち主体の大衆社会のために生み出した代用品的芸術である。

(自分たちが所有していたもとの文化・芸術は1870年以降の階級闘争のなかで放棄した)

キッチュの誕生

モダニズムはブルジョワジー無き時代のブルジョワ芸術として、あるいはもっと正確に言うならブルジョワジーが貴族主義的なものを放棄した時代の貴族主義的芸術として、誕生した。

アヴァンギャルドはブルジョワジーに対立しているが、西洋ブルジョワ社会の一部であり、ブルジョワ社会の「表現に適合する」諸形式を見つける機能を有し、それは「黄金の臍の緒」によって結ばれている。

芸術とイデオロギー

西洋社会の文化のデカダンス・イデオロギーの分裂

芸術家・作家が観衆たちの反応を見積もれない。衰退する文化の中で耐久性のある特異な芸術的伝統が生まれる

アヴァンギャルドはイデオロギーの分裂から芸術を守るひとつの方法だった

3. 示されし芸術観

芸術自体が有する価値

・芸術にとってそれ自身で価値を有するとはどういうことか？

論理的に示すのは困難

しかし、歴史的な回答を与える...

「人類のうちで長年をかけて教養を獲得してきた者たちは、芸術の中でのみ発見される価値と、他の領域でも発見される価値との間に区別がたつ」by グリーンバーグ

(例) 投資家デュピュイとピサロ、スーラ

芸術が芸術としての価値を有するには商品としての価値と相互に作用することが区別を活性化させた。

芸術と資本とは切っても切り離せない緊張関係にあった

「交渉」抜きには考えられない区別

価値の判断基準となるひとつの要素

・「平面性」

絵画という媒体の本質であり、クレメント・グリーンバーグがモダニズム絵画において、追求すべきだと考えたこと。彼によれば、絵画というジャンルの最大の特徴はキャンヴァスの「平面性」である。

・「平面性」とは、「民衆的な」の類義語

・「平面性」で、「近代性」を意味

否定の実践

・否定とは芸術がそれ自体で価値として現れる

・全包括的な事実

おわりに 発表に向けてー

みなさんは、芸術はそれ単体として価値を持っていると考えますか？クラークはこの時点(1983年)ではそれは信じることは出来ないと述べています。その答えに少しでも近付いていけるように、発表を進めていきたいと思いますので、みなさんも考えてきてください。

鯨 田 泉

桑 原 翔

佐 藤 奈 央